

問1 戦後の法律改定により保障された、国民が国政に参加したり運動したりする自由を何という？

1. 政治活動                      2. 宗教活動                      3. 経済活動                      4. 社会運動

問2 日本国憲法が保障する、人間が人間として尊重され、個人の権利が社会の中で大切に扱われる理念を何という？

1. 公共の福祉                      2. 個人の尊厳                      3. 表現の自由                      4. 法の下での平等

問3 沖縄返還は、沖縄の人々にとってどのようなこと象徴であるといわれている？

1. 国際社会への復帰                      2. 高度経済成長                      3. 農地改革                      4. 教育改革

問4 昭和時代の戦後、工業化が急速に進み、国民所得が大きく上昇した期間を何という？

1. 冷戦の終結                      2. 高度経済成長                      3. 戦後改革                      4. バブル崩壊

問5 日本国憲法において、国際紛争を解決する手段としての武力行使を永久に放棄し、世界に平和を望むことを何という？

1. 恒久平和                      2. 法の支配                      3. 国民主権                      4. 基本的人権の尊重

問6 1950年代半ばから1970年代初めまで続いた、日本の経済が急速に発展した時期を何という？

1. 大正デモクラシー期                      2. 高度経済成長期                      3. バブル経済期                      4. 安定成長期

問7 1955年のアジア・アフリカ会議で採択された、平和と協力に関する10の原則を何という？

1. 北大西洋条約                      2. 平和五原則                      3. 国連憲章                      4. 平和十原則

問8 湯川秀樹の専門分野は何か？

1. 化学者                      2. 生物学者                      3. 物理学者                      4. 天文学者

問9 1973年に発生し、世界的な石油危機（オイルショック）の引き金となった戦争を何という？

1. 第2次中東戦争                      2. 第4次中東戦争                      3. 第1次中東戦争                      4. 第3次中東戦争

問10 1972年に訪中し、日中共同声明に調印して国交正常化を実現した当時の首相は誰？

1. 吉田茂                      2. 岸信介                      3. 田中角栄                      4. 佐藤栄作

問11 1950年代半ばから1970年代初めにかけて続いた、日本の急速な経済成長を何という？

1. オイルショック                      2. 高度経済成長                      3. 安保闘争                      4. バブル経済

問12 第二次世界大戦後、アメリカ軍の統治下に置かれていたが、1972年に日本へ施政権が返還された地域を何という？

1. 対馬                      2. 小笠原諸島                      3. 沖縄                      4. 北海道

問13 1950年に勃発し、日本に特需景気をもたらした国際的な軍事衝突を何という？

1. 湾岸戦争                      2. ベトナム戦争                      3. 朝鮮戦争                      4. 中東戦争

問14 1972年に日本と中国の間で国交正常化が行われた際に署名された外交文書を何という？

1. 日韓基本条約                      2. 日米安全保障条約                      3. 日中共同声明                      4. 日ソ共同宣言

問15 所得倍増計画後の日本の経済発展に伴い、1964年に日本で開催された国際的なスポーツの大会は何という？

1. 長野オリンピック                      2. 大阪万博                      3. 東京オリンピック                      4. 札幌オリンピック

問16 日本の防衛を目的として発足した自衛隊が組織された年はいつ？

1. 1960年                      2. 1945年                      3. 1954年                      4. 1951年

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 政治活動	戦後、GHQの指令による治安維持法の廃止や新憲法の制定により、表現の自由や結社の自由が認められました。これにより、国民は自由に意見を戦わせ、投票やデモなどを通じて自分の主張を掲げる「政治活動」ができるようになりました。
問2	<b>答え 2</b> 個人の尊厳	憲法第13条には「すべて国民は、個人として尊重される」と明記されており、個人の生命、自由、幸福追求の権利が守られるべきだという民主主義の核心を示しています。
問3	<b>答え 1</b> 国際社会への復帰	沖縄返還は、単なる領土の返還ではなく、戦後日本の完全な独立と国際社会への復帰を意味する出来事でした。沖縄の人々にとっては、長年のアメリカ統治から脱却し、平和憲法の下で日本の一員として歩み出すという大きな転換点となりました。
問4	<b>答え 2</b> 高度経済成長	1955年頃から1973年の石油危機まで、国民所得は倍増し、家電製品が普及する「三種の神器」ブームなどが起こりました。この時期に日本は世界有数の経済大国へと成長しました。
問5	<b>答え 1</b> 恒久平和	日本国憲法は、平和主義を掲げ、戦争の放棄と戦力不保持を定めました。これは、武力によらない国際協力を追求する決意を示しています。
問6	<b>答え 2</b> 高度経済成長期	重化学工業を中心に生産が拡大し、国民の所得も大幅に上昇しました。この時期、国民生活は大きく豊かになり、家庭電化製品が急速に普及しました。
問7	<b>答え 4</b> 平和十原則	インドネシアのバンドンで開かれた会議において、植民地主義への反対や、人種差別の撤廃、主権の尊重などを盛り込んだ「平和十原則」が採択されました。
問8	<b>答え 3</b> 物理学者	物理学者は、物質やエネルギーの法則を研究する科学者です。湯川秀樹は、目に見えないほど小さな世界である原子核の力を数学的に解明し、理論物理学の発展に多大な貢献をしました。
問9	<b>答え 2</b> 第4次中東戦争	1973年、イスラエルとエジプトやシリアを中心とするアラブ諸国との間で第4次中東戦争が勃発しました。これをきっかけに、石油輸出機構（OPEC）の加盟国などが石油の生産制限や輸出禁止措置をとり、原油価格を大幅に引き上げました。これにより世界中で石油供給が滞り、日本でもトイレトペーパーの買い占め騒動などが起きるなど、国民生活と産業に大きな打撃を与えました。
問10	<b>答え 3</b> 田中角栄	1972年、首相に就任して間もない田中角栄が訪中し、周恩来首相と会談しました。この結果、両国の間に日中共同声明が出され、日本は中華人民共和国を中国の唯一の合法政府として承認しました。
問11	<b>答え 2</b> 高度経済成長	1955年頃から1973年のオイルショックまでの約20年間、日本は世界的に見ても驚異的なペースで経済発展を遂げました。これを「高度経済成長」といいます。重化学工業が中心となり、テレビ・洗濯機・冷蔵庫などの「三種の神器」が普及し、人々の生活水準も劇的に向上しました。
問12	<b>答え 3</b> 沖縄	サンフランシスコ平和条約でも日本から切り離され、長らくアメリカの統治が続きました。沖縄の人々による返還運動が広がり、1972年ようやく日本への施政権が返還されました。
問13	<b>答え 3</b> 朝鮮戦争	日本に駐留していたアメリカ軍が、戦地へ送る軍需物資や修繕の依頼を日本の企業へ大量に出しました。これを「朝鮮特需」と呼び、日本の製造業やサービス業は大きな利益を上げました。
問14	<b>答え 3</b> 日中共同声明	1972年、田中角栄首相が訪中し、毛沢東主席らとの会談を経て発表されました。この声明により、日本は中国政府を「中国の唯一の合法政府」として承認し、戦争状態の終結を確認しました。
問15	<b>答え 3</b> 東京オリンピック	1964年の東京オリンピックは、アジアで初めて開催されたオリンピック大会であり、日本の国際社会への復帰を象徴する出来事でした。この大会に向けて、東海道新幹線の開通や首都高速道路の整備が進み、日本のインフラは一気に近代化しました。世界中から注目が集まる中で日本の技術力を誇示し、国民に大きな誇りと希望を与えました。
問16	<b>答え 3</b> 1954年	警察予備隊や保安隊を経て、1954年に現在の自衛隊が正式に発足しました。自衛隊はあくまで専守防衛を原則としています。